

2023年6月17日(土) 14:00~17:00

近年、DX、すなわちデジタルトランスフォーメーションによる社会課題解決やデータ駆動型イノベーションの創出が展開されています。ランドスケープ分野においては自然環境、社会環境の調査を通じた計画設計が行われ、その調査研究、教育活動も多数展開されてきました。計画設計における CAD などの表現技術、GIS を用いた地理情報分析等の利用は、既に身近なものです。しかしながら、昨今の DX は、通信情報などの大量のデジタルデータを用い、多様な教育、研究、医療などの分野を通じ、生活に深く広がりつつあります。デザインを標榜する私共の分野には、ランドスケープを基調とした新たなデジタル社会のあるべき姿を描き、デザイン活動を進め、DX 技術を用いて社会の課題を解決していくことが求められています。本シンポジウムでは、国内外の取り組みを伺いながら、あるべき将来像を俯瞰し、これから何をなすべきか会場の皆様と共に議論を行いたいと思います。

Program

オーストラリアにおけるランドスケープ分野のDXの広がり

“DX in Australian Landscape Architecture – Australian Environmental Design and the Internet of Nature”(字幕付きVTR)

アデレード大学 ランドスケープ&アーバンデザイン主任

スコット・ホーキン氏

情報科学からみるDX

～参加型モバイルセンシングとコミュニティ形成～

九州大学大学院システム情報科学研究院情報知能工学専攻教授

荒川 豊氏

ランドスケープデザイン分野における

DXにまつわる個別技術

九州大学大学院芸術工学研究院環境設計部門准教授

高取 千佳氏

パネルディスカッション

「今後のランドスケープデザインとDXの視点・論点」

筑波大学システム情報系 教授 村上 暁信氏

九州大学大学院芸術工学研究院 准教授 高取 千佳氏

日本造園学会理事、千葉大学大学院園芸学専攻科 教授 柳井 重人氏
コーディネーター

九州大学大学院芸術工学研究院環境設計部門 准教授 朝廣 和夫氏

大会に関するお問い合わせ

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-11 造園会館 6 階

公益社団法人日本造園学会事務局

Tel: 03-5459-0515 Fax: 03-5459-0516

Eメール: office@jila-zouen.org

大会の詳細については順次学会ホームページに掲載されます。

スムーズな運営に向けて事前申込にご協力ください。

ランドスケープ分野における デジタルトランスフォーメーションの広がりと未来



この画像は、Stable Diffusionというオンラインサービスで、テーマの翻訳である「The Extent and Future of Digital Transformation in the Landscape Sector」で描かせた画像です。

Speaker

スコット・ホーキン 氏



PhD. アデレード大学建築・土木工学部のランドスケープ・アーキテクチャーとアーバン・デザイン・プログラムのディレクター。AILA (オーストラリア造園学会) の生物多様性ポジティブ・ワーキンググループの議長を務め、生物多様性と都市化の課題に対処する創造的なデザインとプランニングを推進。国際的な学術誌で幅広く発表し、Jane Irwin Landscape Architecture, Terragram, Room 413といった一流の景観・都市デザイン事務所に勤務してきた。彼の一連の研究は、デジタル技術が都市をどのように変化させているかを明らかにすることを目的としている。

荒川 豊 氏



博士(工学)。専門は緑地2006年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了博士(工学)、同大助手、九州大学助教、奈良先端大准教授を経て、2019年より九州大学大学院システム情報科学研究院教授。2021年より情報処理学会およびSDGsデジタル社会推進機構理事を務めている。2022年より総長補佐。

高取 千佳 氏



九州大学大学院芸術工学研究院環境設計部門准教授。博士(工学・東京大学)。専門は景観生態学、都市計画。天神・中洲地区でのDX技術を活用した公共空間マネジメントのプロジェクト、那珂川における公民連携など、持続可能で豊かな自然・生活環境の再生に向けた研究・実践活動に取り組む。主な著書にLabor Forces and Landscape Managementsなど。

村上 暁信 氏



博士(農学)。専門は緑地計画学。1999年東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了後、東京大学助手、東京工業大学講師、MIT客員研究員などを経て現職。メガシティの環境変化、数値シミュレーションを用いた緑地の機能評価、災害で失われた景観のデジタルアーカイブ作成、SNSを活用した防災まちづくり等の研究に取り組んでいる。

柳井 重人 氏



博士(農学)。専門は緑地環境管理学。持続可能な地域の形成や暮らしの改善・向上を目指し、住民・企業・行政のパートナーシップに基づく都市緑地の再生・活用法等に関する教育研究および実践的活動を展開している。

朝廣 和夫 氏



博士(芸術工学)。専門は緑地保全学。1993年九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業後、里地・里山の保全、都市緑地の保全等の教育研究を進める。2012年7月九州北部豪雨をきっかけに「災害後の農地復旧のための共助支援の手引き」を作成・公開。パングラデシの屋敷地林調査等に従事。近年は、UAVによる里山林での点群データ取得を開始。

大会プログラム

6月16日（金） 8:30～ 見学会【日向灘沿岸ビーチサイドパーク&ガーデン巡り】
14:00～ 学生公開デザインコンペ二次審査会

6月17日（土） 9:30～ 総会、表彰式、受賞者講演
10:00～ 大会企画展示、学生公開デザインコンペ作品展示
14:00～ 公開シンポジウム
18:00～ 交流会

6月18日（日） 9:15～ 研究発表会、ミニフォーラム、ポスターセッション



無料で参加できるのは、6月17日（土）14時00分からの「公開シンポジウム」のみで、それ以外のプログラムは、参加費をお支払いいただいた方のみ参加できる、有料のプログラムです。

■大会参加費（事前申し込み、現地参加・オンライン参加共通）
会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 2,000 円（オンライン決済）

■交流会参加費（事前申し込み）
会員 6,000 円、非会員 7,000 円、学生 2,000 円（現地支払い）

■見学会参加費（事前申し込み）
会員・非会員 4,000 円、学生 1,500 円（オンライン決済）

大会運営の円滑化と新型コロナウイルス感染症拡大防止、および受付時の密集や接触を最小限に抑えるために事前申込・決済制を導入します。申込受付期間は現地参加・オンライン参加とも、2023年5月1日（月）～6月11日（日）です。事前申込はスマートフォンもしくはパソコンから行います。詳しい申込方法については、日本造園学会ホームページをご覧ください。

大会のスムーズな運営に向けて、事前申込にご協力いただきますようお願い申し上げます。

会場*南九州大学 都城キャンパス：〒885-0035宮崎県都城市立野町3764-1

【アクセス方法】（列車等本数が少ないです。時刻表をご確認ください）

- ・宮崎空港からは特急バスまたは JR 約 1 時間にて JR 日豊本線「都城駅」。
- ・JR 日豊本線「都城駅」より宮崎交通バス 17 分、「南九州大学前」下車すぐ。
- ・高速バスでお越しの場合は「都城北停留所」で下車後、タクシー乗車
- ・都城 IC よりキャンパスまで約 8 km



詳細は南九州大学 HP をご覧ください



主催：公益社団法人日本造園学会 共催（学生公開デザインコンペ）：全国都市公園整備推進協議会

後援：宮崎県、宮崎市、都城市、（公財）都市緑化機構、（一社）日本造園建設業協会、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会、（一社）日本造園組合連合会、（一財）日本造園修景協会、全国1級造園施工管理技士の会、（公社）日本エクステリア建設業協会、南九州大学

協賛：（一社）日本造園建設業協会九州総支部、（一社）日本公園施設業協会九州・沖縄支部、（一社）ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部、九州各県造園協会連合会、（公社）宮崎県緑化推進機構、（一社）日本造園建設業協会宮崎支部、（一社）宮崎県造園緑地協会、（一財）日本造園修景協会宮崎支部、（一社）日本樹木医会宮崎県支部、宮崎県緑花木生産協同組合、南九州大学同窓会（予定）

お問い合わせ 日本造園学会事務局 〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-20-11 造園会館 6 階

Tel: 03-5459-0515 Fax: 03-5459-0516 Eメール: office@jila-zouen.org

大会の詳細については、順次学会ホームページに掲載されます。

日本造園学会ホームページ URL: <https://www.jila-zouen.org/>

